

議会報告会報告書

令和6年5月8日

尾張旭市議会議長 殿

議会報告会実行委員長 さかえ章演

議会報告会実施要綱第12条第1項の規定により、次のとおり報告します。

開催日時	令和6年4月20日(土) 午前10時00分～午前11時30分
開催場所	スカイワードあさひ(5階) くすのきホール
出席議員	秋田さとし、芦原美佳子、市原誠二、いとう伸一、大島もえ、片渕卓三、勝股修二、川村つよし、さかえ章演、榊原利宏、櫻井直樹、陣矢幸司、谷口武司、早川八郎、日比野和雄、松原たかし、丸山幸子、安田吉宏、山下幹雄、若杉たかし
参加人数	30 人
実施内容	<p><u>一部/議会報告会</u>            議会改革をテーマに、主に以下2点を報告            ①議会基本条例の検証について(議会運営委員長より説明)            ②政策立案機能の強化に向けた仕組みづくりの詳細について(議会みらい創造特別委員長より説明)</p> <p><u>二部/意見交換会</u>            各常任委員会に分かれ、主に行政調査の内容を基に意見交換会を行った。</p>
主な意見・提言等	<p>1部の議会報告会では質問時間がなく、質疑応答は2部で行った。            2部の意見交換会では、以下の3つの常任委員会に分かれ、各常任委員会を設定したテーマに基づき活発な意見交換が行われた。            (※意見や提言については、各常任委員会報告を御参照下さい)</p> <p><u>福祉文教委員会</u>            テーマ1 部活動の地域移行について            テーマ2 教育改革について</p> <p><u>都市環境委員会</u>            テーマ1 名鉄瀬戸線の駅前(印場、旭前、尾張旭、三郷)周辺の活性化について</p> <p><u>総務委員会</u>            テーマ1 「地域防災ステーション」について            テーマ2 「市議会×高校生プロジェクト」について</p>

意見交換会報告書

令和6年4月30日

尾張旭市議会議長 殿

総務委員長 市原 誠二

意見交換会実施要綱第10条第1項の規定により、次のとおり報告します。

開催日時	令和6年4月20日（土）午前10時30分～午前11時30分
開催場所	スカイワードあさひ（5階）くすのきホール
出席議員	市原誠二 陣矢幸司 谷口武司 丸山幸子 山下幹雄 若杉たかし
参加人数	10名
団体名	
テーマ	1, 地域防災ステーションについて 2, 市議会×高校生プロジェクトについて
主な意見 ・提言等	<p><b>主な意見(テーマ1:地域防災ステーションについて):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校を避難所とする際には、中学校を基点とした防災訓練や町内への情報提供が必要である</li> <li>・中学校が最後まで避難所として使われる可能性も考慮し、避難所運営の計画を進める必要がある</li> <li>・中学校の避難所機能強化のための予算付帯決議を行ったことを報告し、その動向を注視ください</li> </ul> <p><b>提言等(テーマ1:地域防災ステーションについて):</b></p> <p>避難所となる体育館の鍵の管理や開放手順について、自治会や市役所の連携を強化し、迅速かつ効果的な運用を行うことが求められる。</p> <p>加入率の低下する自治会に対しては、加入促進や活動の魅力化が必要であり、特に新住民へのアプローチや活動の分担などが検討されている。</p> <p>地域防災ステーションの活動モデルを各地域で検討し、効果的な防災推進委員会の運営を模索することの提案をいただいた。</p> <p><b>主な意見(テーマ2:市議会×高校生プロジェクトについて):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生に議会見学を促すことで投票率向上を図ることが重要</li> <li>・高校生に選挙や投票について劇などを通じて関心を持たせることが重要</li> </ul> <p><b>提言等(テーマ2:市議会×高校生プロジェクトについて):</b></p> <p>投票率向上のためには、主権者教育を小学校や中学校から高校生に向けて積極的に展開することが必要であり、その中で選挙や投票の重要性を伝える取り組みが必要である。</p> <p>SNSや地域での投票特典などを活用して、投票意識を高める仕組みの構築が提案された。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

意見交換会報告書

令和6年4月30日

尾張旭市議会議長 殿

福祉文教委員長 秋田 さとし

意見交換会実施要綱第10条第1項の規定により、次のとおり報告します。

開催日時	令和6年4月20日(土) 午前10時30分～午前11時30分
開催場所	スカイワードあさひ(5階) くすのきホール
出席議員	秋田さとし、櫻井直樹、いとう伸一、片渕卓三、榊原利宏、日比野和雄、松原たかし
参加人数	8人
団体名	
テーマ	テーマ1「部活動の地域移行」について テーマ2「教育改革」について
主な意見 ・提言等	<b>【テーマ1：部活動の地域移行について】</b> ○どのような理由で部活動が廃止になったのか ○瑞鳳の子ども会も解散になり、子どもたちにとってさみしい限りだ ○健康都市だからこそ健康な子供を育てるようにしてほしい ○80歳だが、小学生とサッカーをしている <b>【テーマ2：教育改革について】</b> ○小学校のICT化について具体的に知りたい ○不登校の子どもが増加しているが、ICT化の関連はないか ○日本のIT化は世界に遅れている、これからはIT等になじませる教育を行ってほしい その他の意見 ○核兵器禁止条約への批准の陳情について意見を聞きたい  ※詳細は別紙参照

福祉文教委員会との意見交換では、初めに「部活動の地域移行について」と「教育改革について」について説明した後、下記の意見や質問が寄せられた。

### テーマ1 部活の地域移行について

小学生の部活動が廃止になったことを知らなかった。

どのような理由で部活動が廃止になったのか。

子ども会の解散もあるようだ。こどもにとってさみしい限りだ。

健康都市だからこそ健康なこどもを育てるようにしてほしい。

80歳だが小学生とサッカーをやっている。

我々年配者のため、なかなか意見が言いづらい

#### ●議員

●国（文部科学省）からの通達により変更です。また教職員の働き方改革による負担軽減のため。民間の力を借りるための考えだと思います。

●昨年より部活動が廃止になりました。

●一つの手法として学童クラブに預けておられる方もいます。

### テーマ2 教育改革について

小学生のICT化について具体的に知りたい。

タブレットは自宅に持ち帰ることもできるのか

一番は勉強をさせるためのICTなので、他事（ゲーム等）をさせないようにタブレット使用の得手不得手もあり、それが原因で不登校になっている子はいないか

日本のICT化は世界に遅れている。どんどん活用しなければ世界から遅れる

#### ●議員

●こども一人に1台タブレット端末を支給している。

●持ち帰れる学校と持ち帰れない学校もあります。

●どんどん調査研究していく

### その他の意見

核兵器禁止条約への批准の陳情について意見を聞きたい。委員会を傍聴したい

#### ●議員

●陳情が出るたびに議論しています。委員会、本会議の傍聴は可能です。また過去のデータはホームページに掲載されています。

様式第5号（第10条第1項関係）

意見交換会報告書

令和6年4月30日

尾張旭市議会議長 殿

都市環境委員長 安田吉宏

意見交換会実施要綱第10条第1項の規定により、次のとおり報告します。

開催日時	令和6年4月20日（土）午前10時30分～午前11時30分
開催場所	スカイワードあさひ（5階）くすのきホール
出席議員	芦原美佳子、勝股修二、川村つよし、さかえ章演、早川八郎、安田吉宏
参加人数	参加者12名 議員6名 計18名
団体名	
テーマ	名鉄瀬戸線の駅前（印場、旭前、尾張旭、三郷）周辺の活性化について
主な意見 ・提言等	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路状況について、歩道を整備して全ての人が安全に移動できるような環境づくりが出来ないか。</li><li>・駅周辺の防犯カメラを増やして、安全に過ごせる環境づくりをして欲しい。</li><li>・高齢化による空き家問題に伴い、空き家の植栽がはみ出して危険である。市として先回りして伐採など出来ないか。</li><li>・平子の森の活用状況はどのようになっているか。</li><li>・ゴミの収集場所の清掃に個人の負担が大きい。</li></ul> <p>※詳細は別紙</p>

尾張旭市議会報告会 意見交換会報告書（都市環境委員会）

委員長より永平寺町の自動運転の社会実験、上田市のシェアサイクルの社会実験についてラストワンマイルをテーマにした委員会視察の報告ののち、尾張旭市内の駅前の活性化について、市民の皆様にご意見を募った。



【道路状況について】

- ・尾張旭市の道路は歩道が整備されていないため、シェアサイクルを導入できる状態ではない。
- ・歩道をきちっと整備してほしい。高齢化社会なので車椅子で自由に動けるようにしてほしい。
- ・なぜなんども道路工事をするのか。水道やガス、電気など縦割りだからではないのか。横のつながりを作ってほしい。
- ・道路の修繕がその場しのぎで、いい加減にアスファルトを盛るだけなので、すぐに駄目になってしまう。治しているのか悪くしているのかわからない。
- ・整備できないのはすぐにお金がないからと言われる。お金がない中で考えるのが議会の仕事だと思う。

[回答]

植樹しているところの根上がりなどさまざまな地域課題をいただいている。その都度所管部署に伝えているが、予算の関係で順番になるのが現状。道路補修のその場しのぎもその通りである。予算の割振りについてしっかり働きかけていきたい。シェアサイクルは選択肢の一つであり導入にあたっての課題もお聞きしている。今後しっかりと検討していきたい。

【防犯カメラについて】

- ・駅周辺の防犯カメラはどの程度設置してあるのか。もし足りないようであればもっと増やしてほしい。
- ・駅構内は名鉄の管理下だが、駅を出たところは市の管轄だと思う。学生の安心安全のためにも、守山警察署と連携してほしい。

・ 連合自治会でインターホン型の防犯カメラの取組を行ったことがある。実験で行ったため、現在は各家庭の取組みになっている。行政の助成があるものは、様々な規制がかかり、修理費も高額。録画を確認しようとしても1万円くらいかかるため、持続性がない。

・ 現状でも街中には非常にたくさんの防犯カメラが稼働している。自分が不安だと思ったところに安く設置できるので、行政や議会だよりではなく、自助や共助の取組みも大事である。

[回答]

いくつか付いている。尾張旭駅には3箇所くらい付いている。

防犯カメラは行政だけでなく、自治会の取組もある。現状を把握し、取り組んでいきたい。

【空き家からの植栽のはみ出しについて】

・ 高齢化社会による空き家問題があるが、空き家からの植栽のはみ出しを定期的に伐採出来ないか。

・ 空き家ではないところの植栽もはみ出ししている。シルバー人材センターに依頼するが、申し込んでから半年ほど待たないといけない。一般の業者だと倍以上の費用がかかる。その差額を補助してもらえないか。

[回答]

尾張旭市は空き家の所有者がわからないということは少ない。どうしても所有者にお願いをする形になる。行政としては市民からの苦情対応という形がやりやすいので、市が自発的に判断、伐採するのは難しいのでは。

シルバー人材センターには剪定や高所作業をできる人材が少ない。一般の業者さんにも人がいない状況。

【平子の森の現状について】

平子の森の活用状況はいかがか。

[回答]

現状トライアル事業で、ドローン関係の事業、子供達のアスレチック、災害復旧訓練、ホラー映画の撮影などが行われている。3年半後に具体的に協



議が始まっていく予定。

**【ごみ収集について】**

- ・ゴミステーションの清掃など、個人に負担がかかる状況はいつまで続くのか。行政に伝えても自治会の問題なので地域で話し合ってくださいと言われてしまう。
- ・地域にしっかりとしたリーダーがいないところは個人に負担がかかってくる。新しく引っ越してきた人は自治会にも入らない。問題を起こす方はそもそも自治会に入らない。
- ・網やゴミボックスを有料にしてはどうかと提案したことがある。
- ・名古屋市のように個別収集にしてほしいと考えている。

**[回答]**

ゴミの出し方など問題のある方をお願いしようとしても、外国出身の方など話が通じにくい方が多く困っている。議会でも課題と捉え、議論をしている状況。

網やゴミボックスの補助は今年度より助成の方法が変わります。